

『論文発表』投稿規定及び執筆要領

- 「論文発表」として発表される論文は、『秋期研究大会発表集録』に掲載されます。
- 原稿締切り 2018 年 7 月 24 日（火）
 - ※締切りの日時を過ぎた原稿は受け付けできませんので、ご注意ください。
 - ※オンライン投稿で、著者名入りの WORD ファイル、著者名入りの PDF ファイル、著者名無しの PDF ファイルの 3 点を提出して頂きます。詳細は下記に従ってください。
- ページ数 「論文発表」A4 判で 8 頁

I 投稿規定

1. **投稿資格** 投稿される研究論文の著者（連名の場合は筆頭著者）は、日本数学教育学会の個人会員とする。
2. **投稿論文** 投稿論文は、算数・数学教育についての基礎的・科学的な研究論文であり、日本語または英語で書かれた独創性のある未発表のものに限る。
3. **論文の長さ** 投稿論文の長さは、図表や資料等を含めて 8 頁（1 頁 22 字×2 段×42 行）で要約を含むものとする。
4. **論文の作成** 論文の作成については、II に定めた「執筆要領」による。
5. **論文の投稿** 論文の投稿に際しては、必ずテンプレートを利用して、著者名入りの WORD ファイル、著者名入りの PDF ファイル、著者名無しの PDF ファイルの 3 点を作成し、オンライン投稿する。送付の仕方に関する詳細については、III の「提出方法」の各項を参照のこと。
6. **論文の査読基準** 研究論文は、数学教育学論究の査読基準を準用し、以下の観点から査読を行う。
 - ア. 投稿規定を満たしているか、
 - イ. 独自性が認められ、しかも関連する先行研究を十分に踏まえているか、
 - ウ. 研究目的は明確に記述されているか、
 - エ. 研究方法は目的の達成にとってふさわしいか、
 - オ. 研究の結果が優れており、その考察は十分であるか、
 - カ. 論文の構成・論旨が適切であり、引用・参考文献は適正であるか。
7. **論文の審査等** 研究論文は、第 6 項の基準で、論究部が委嘱した 3 名の審査委員による査読を行い、その結果に基づいて秋期研究大会プログラム委員会が採否等の決定を行う。査読結果については以下の通りとする。

論文発表採択（合）：この論文は、秋期研究大会で「論文発表」となります。また、大会当日の質疑を経て、加筆修正の上、『数学教育学論究』に掲載される論文です。

論文発表採択（条）：この論文は、秋期研究大会で「論文発表」となります。また、大会当日の質疑を経て、加筆修正・再査読の上、『数学教育学論究』に掲載される候補の論文です。

口頭発表採択（発）・ポスター発表採択（ポ）：この論文は、「論文発表」論文としては不十分であるため、秋期研究大会で「口頭発表」あるいは「ポスター発表」への変更が適当な論文です。

また、口頭発表（発）あるいはポスター発表（ポ）に採択となった場合、「口頭発表」（2頁または4頁）または「ポスター発表」（1頁）に変更して、審査を経て発表することができる。

なお、査読の結果は9月上旬に論究部長名の文書で連絡する。口頭発表あるいはポスター発表に採択となった原稿は、9月26日（水）必着で事務局までオンライン投稿すること（著者名入りのWORDファイル、著者名入りのPDFファイル、著者名無しのPDFファイルの3点を送付する）。（上の文書の通知から口頭発表あるいはポスター発表の原稿提出までは、あまり日数がないので注意すること。）

8. **著作権の帰属** 掲載された論文の著作権は、別に定めた「著作権規定」に基づき、日本数学会に属するものとする。
9. **二重投稿の禁止** 二重投稿は禁止する。
10. **筆頭著者としての発表件数の制限** 筆頭著者としての発表は、論究部会の決定により、論文発表、口頭発表、ポスター発表を通して1件のみとする。

II 執筆要領

1. **原稿の書式** 必ずホームページ掲載のテンプレートをダウンロードして使用すること。 原稿はA4判の縦書き横書きとし、22字（字送り10.35p）42行（字送り16.8p）の2段組で作成する。別紙の論文発表様式、論文執筆における引用・参考文献の記載方法、サンプル様式を参照して執筆すること。
本文のフォントは、MS明朝体10.5ポイント、見出しはMSゴシック体10.5ポイントとする。句読点は「、」と「。」を用いる。英字についてはTimes New Romanを使う。余白の長さ（上30mm、下18mm、左右20mm）とする。書式を逸脱した原稿は掲載できなくなるので、注意すること。
2. **標題の字数と書式** 標題は40字以内とする。副題がある場合、副題は30字以内とする。また、標題はMSゴシック体18ポイント、副題は14ポイントとする。
3. **要約の作成** 要約は460字（46字10行）以内とし、研究の目的、方法、及び主な結果が分かるように簡潔・明瞭にまとめる。
4. **キーワードの作成** キーワードは3つ以内とし、合計で15字程度とする。
5. **文体** 日本語の文体は「である」調とし、常用漢字ならびに現代かなづかいを用いること。

6. **見出し番号の付け方** 章，節，項は番号と標題をつけ，系統だてて配列する．見出しの番号は，次の順とする．

章の見出し番号 1, 2, …, 節の見出し番号(1), (2), …, 項の見出し番号①, ②, …
7. **表・図の番号** 表・図の番号は，それぞれ，表 1, 表 2, …, 図 1, 図 2, …のように通し番号をつけ，表や図の標題とともに入れる．表の通し番号と標題は表の上側に，図の通し番号と標題は図の下側に書くものとする．
8. **引用・参考の仕方** 文章を引用する場合には，引用部分を括弧「」で囲んで引用の部分が分かるようにし，そのあとに，括弧（）を用いて著者と発行年と引用ページを入れる．引用ではなく参考の場合には，参考部分の後に，括弧（）を用いて著者と発行年を入れる．

例：[引用]「…である」（川田，1999，p. 4）．[参考]…であった（山田，2000）．
9. **引用・参考文献及び註の記載形式** 引用・参考文献は論文の末尾にまとめる．引用・参考文献や註のフォントを小さくしたり行間を詰めたりすることは認められない．

個々の具体的な書式については，「論文執筆における引用・参考文献の記載方法」を参考にすること．
10. **引用・参考文献の記載順序** 著者の姓の英文標記に基づいてアルファベット順とする．
11. **表・図等の扱い** 冊子体（別注）作成において，86%に縮小するので，縮小した後でも十分読める大きさを確保する．また，論文データをつなげて発表集録を作成する際，書式が崩れる可能性があるので，フォントサイズ等，変更しないこと．表・図が 2 段組の一方の段に収まらない場合は，2 段分使用すること．
12. **英文での原稿執筆** 以下の 4 点に留意の上，執筆する．
 - ① 日本語バージョンの執筆要領を原則とする．なお，本文の基本フォントは Times New Roman の 12 ポイントとする．
 - ② 2 段組は行わずに執筆する．なお，余白等は日本語バージョンに従う．また，1 頁の行数は日本語バージョンと同様に 42 行とする．
 - ③ 要約は，日本語バージョンに従って，その部分を日本語で作成する．
 - ④ 論文のタイトルについては日本語タイトルも作成の上，オンライン投稿システムに入力すること．
13. **ページ番号** 原稿にはページ番号を付さないこと．

※ 書式の改変は一切認められない．上記 1～13 の要領に従っていない場合は，その時点で「不採択」と判定される場合があるので注意すること．

Ⅲ 提出方法

1. 提出方法

テンプレートを利用して「著者名入りの WORD ファイル」「著者名入りの PDF ファイル」「著者名無しの PDF ファイル」を各 1 つ，合計 3 つのファイルを作成し，参照ファイルとして投稿する．

2. 論文原稿ファイル名

ファイル名は以下の通りとする.

著者名入りの WORD ファイル : R_名前.doc (または docx) (例 : R_数学太郎.docx)

著者名入りの PDF ファイル : R_名前 (有) .pdf (例 : R_数学太郎 (有) .pdf)

著者名無しの PDF ファイル : R_名前 (無) .pdf (例 : R_数学太郎 (無) .pdf)

※ 分科会の希望については, 既に発表申込み時にお願いしていますが, 変更がある場合は, 投稿時に希望分科会を入力して下さい.

<分科会>

1. 数学教育学論, 研究方法論
2. 教育課程 (目標, 評価)
3. 問題解決 (数学的な考え方, 指導法)
4. 教授・学習過程
5. 数学的モデル化
6. 数と計算・代数
7. 図形・幾何, 測定
8. 関数
9. 確率・統計
10. 言語とコミュニケーション
11. 証明 (説明, 論証を含む)
12. テクノロジー
13. 数学教育史, 数学史の教育活用
14. 教師教育
15. 国際協力
16. その他

3. 問合せ先 Eメールによる問合せは, 次の事務局宛にお願いします.

日本数学教育学会第 51 回秋期研究大会実行委員会事務局
jsmeautumn51@sme.or.jp